

国産ライチの減農薬・ スマート栽培

当社は、農業支援のために、国産ライチの栽培研究に取り組んでいます。このたび、研究の成果であるライチが初めてたくさんの実をつけ、収穫期を迎えていますのでご紹介します。

マスコミ各社から取材いただきました

合計11社の報道機関様の取材を受けるなど、高い注目を集めています。お見逃しの方は、是非、以下のリンク先からお楽しみ下さい。

【岡山放送】 <https://www.fnn.jp/articles/-/63240>

【産経新聞】 <https://www.sankei.com/premium/news/200720/prm2007200002-n1.html>

【電気新聞】 <https://www.denkishimbun.com/archives/68721>

【四国新聞】 <https://www.shikoku-np.co.jp/dg/article.aspx?id=K2020072300000002500>



取材を受ける電子アグリ技術部工藤グループ長

独自の農業支援技術を活用

当社では、設立当初より電気とバイオテクノロジーを利用した農業の振興を目指し、様々な技術の研究・開発を行ってきました。これまでに培ってきた技術やノウハウを活用して、2015年より香川大学との共同研究として香川県高松市の当社施設においてライチの栽培研究を開始し、ポット式の養液栽培をベースにした省力化システムの開発を進めています。



香川県高松市の当社施設でたわわに実ったライチの実

国産生ライチは希少品！

ライチは中国南部をはじめ台湾、東南アジアなどの熱帯・亜熱帯地域原産であり、気候条件の異なる日本では栽培が難しいことから、現状では、鹿児島、宮崎、沖縄等、一部の限られた地域でわずかな量しか生産されていません。当社では、システムを通じて収集した環境データを基に適した品種を見極め環境制御ノウハウを蓄積し、植栽から5年目を迎えた今年、ようやく沢山の実をつけることに成功しました。

未だ研究途上の段階ではありますが、香川県でのライチ栽培実績はめずらしく、生の果実は鮮やかな紅色でとてもきれいです。

ライチの概要

分 類	ムクロジ科 レイシ属 常緑小高木
学 名	Lichi chinensis(英語表記Lychee) ※レイシまたはライチーとも呼ばれる。
原 産 地	主に中国南部をはじめとする亜熱帯・熱帯地域
耐寒温度	0℃程度(ただし、霜にあたらぬ環境下が条件)
生育温度	15℃～30℃
生育年数	取り木・接木苗から約3年程度、結実まで約8～12年程度
開花時期	2月～4月頃
収穫時期	6月～8月頃
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ビタミンCや葉酸の含有量が多く、ビタミンB1群やカリウム、マグネシウム、銅などのミネラル類、ロイコシアニジンなどのポリフェノールを含んでいる。 ➤ 貧血予防や冷え症軽減、美白効果、高血圧・むくみ・二日酔いケアなどに効果があるといわれている。 ➤ 温暖多湿な気候を好み、夏の暑さには強いが、花芽形成のためには長時間(100～200時間)低温にあたる必要がある。5～7℃で越冬するが、屋外では0℃以下にならないような管理が必要である。 ※ 霜にあたると枯れてしまう可能性が高い。 ➤ 日持ちが悪く、新鮮な状態で食す場合は、最長で収穫から5日～1週間が限度であるため、日本では冷凍ライチが一般的である。